

発掘ニュース

第 8 号

昭和 59 年 10 月 8 日

発行 財団法人 いわき市教育文化事業団

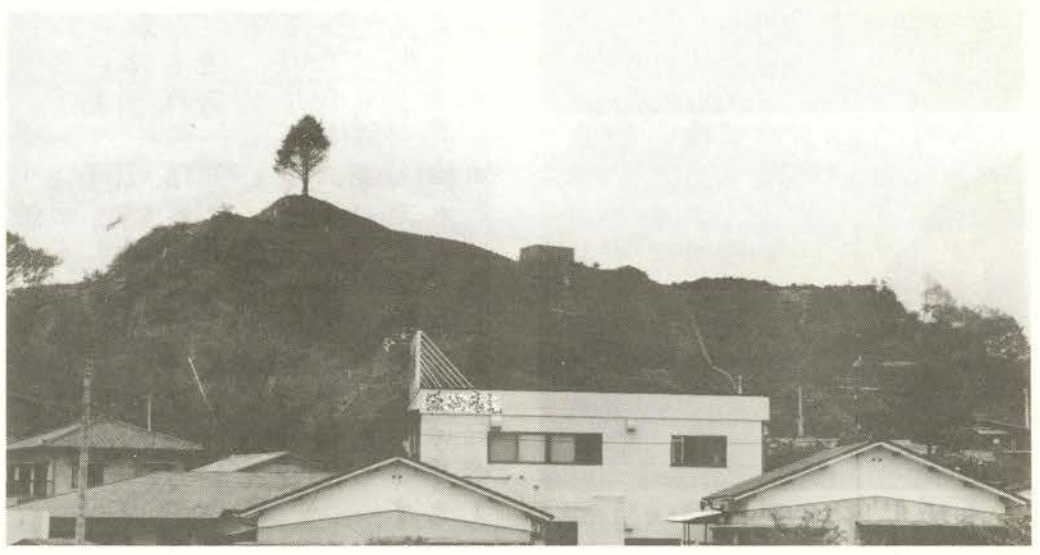
砂屋戸荒川館

荒川館の発掘調査は、今年（昭和59年）の10月21日（月）から始まり、10月27日（水）まで予定で行なわれます。荒川館は、いわき市平大（平大駅）の北東にあり、鹿島街道と砂屋戸小名浜の間にあり、かつては、この山を削って宅地を造るは、砂屋戸荒川館と呼んでいました。なせ、発掘調査を行なうかというところ、砂屋戸荒川館と、お城の跡が、まるまる、なくなってしまうので、歴史的遺産のため、発掘調査を行なう、写真や図面をとり、記録として残すのです。

発掘調査は、四倉自工株式会社から市教育委員会を通じて、（財）いわき市教育文化事業団が委託を受け、行なっています。調査面積は、約30000㎡ですが、実際に発掘する広さは、平な所を選んで約10000㎡あまりです。

今回の発掘ニュースでは、あまり知られていない城の歴史と中世のお城の作り方や構成（縄張りーなわばり）を中心に話しましょう。

○
とじておきましょう
○



発掘ニュース

第 8 号

昭和 59 年 10 月 8 日

発行 財団法人 いわき市教育文化事業団

砂屋戸荒川館

荒川館の発掘調査は、今年（今年）の5月21日（月）から始まり、10月31日（水）までの予定で行なわれる。荒川館は、いわき市平大駅（平大）と荒川字砂屋戸地内にある。昔のお城があった所です。平大駅から鹿島街道を小名浜に向かると、分岐の所を走ると、谷川瀬をすぎたあたりの右手に、はだか山を見つけたところが、砂屋戸荒川館と呼んでいます。なぜ、発掘調査を行なうかという点、今度、この山を削って宅地を造成することになったからで、お城の跡が、まるまる、なくなってしまうので、歴史的遺産のために、発掘調査を行なう、写真や図面をとり、記録として残すのです。

発掘調査は、四倉自工株式会社から市教育委員会を通じて（財）いわき市教育文化事業団が委託を受け、行なっています。調査面積は、約30000㎡ですが、実際に発掘する広さは、平大駅を選んだ約10000㎡あまりです。

今回の発掘ニュースでは、あまり知られていない城の歴史と中世のお城の作り方や構成（縄張りーなわばり）を中心に話しましょう。

とじておきましょう

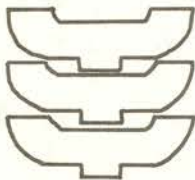


歴史年表

時代	西暦	いわきのできごと	日本のできごと	市内の遺跡と文化財
鎌倉	1192	谷戸(作)の開発すむ 岩城氏地頭となる	鎌倉幕府ができる	1252 柴竹供養塔 長谷寺 1318 十一面観音
		地頭と荘官(預所)の 争いが頻発する	元寇	
南北朝 室町	1333	内乱にいわきの武士が 参戦する	南北朝の内乱はじまる	荒川館 1361 調所供養塔 龍門寺
		中小の領主の対立や連合 がさかんになる	足利義満金閣寺をつくる	
	1404	岩城氏岩城郡主となる	勘合貿易開始	
戦国		岩城氏がいわき地方を 統一し他領へ進攻する	応仁の乱 鉄砲伝来	
		岩城氏戦国大名となる	織田信長朝倉氏を滅ぼす	
安土 桃山	1573	佐竹氏によるいわき領の検地	豊臣秀吉天下を統一する	
江戸	1603	鳥居氏が平城主となる	関ヶ原の戦い 江戸幕府の開始	平城

◎ お知らせ

10月21日(日). 午前10時から現地にて遺跡の説明会を行います. どうぞお越し下さい.



(文化財のシンボルマーク)

編集

(財)いわき市教育文化事業団

(電話) 0246-22-5431

内線 254・256

荒川館遺跡

調査事務所

(電話) 0246-22-5135

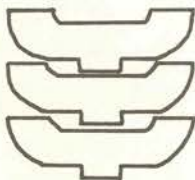
歴史年表

時代	西暦	いわきのごきごと	日本のごきごと	市内の遺跡と文化財
鎌倉	1192	谷戸(作)の開拓すむ 岩城氏地頭となる	鎌倉幕府がでさる	1252 柴竹供養塔 長谷寺 1318 十一面観音
		地頭と荘官(預所)の 争いが頻発する	元寇	
南北朝 室町	1333	内乱にいわきの武士が 参戦する	南北朝の内乱はじまる	荒川館 1361 調所供養塔 大館 龍背寺
	1404	中小の領主の対立や連合 がさかんになる 岩城氏岩城郡主となる	足利義満金閣寺をつくる 勘合貿易開始	
戦国		岩城氏がいわき地方を 統一し他領へ進攻する	応仁の乱 鉄砲伝来	
		岩城氏戦国大名となる	織田信長朝倉氏を滅ぼす	
安土 桃山	1573	佐竹氏によるいわき領の檢地	豊臣秀吉天下を統一する	
江戸	1603	鳥居氏が平城主となる	関ヶ原の戦い 江戸幕府の開始	平城

とじておきましょう

◎ お知らせ

10月21日(日) 午前10時から現地にて、遺跡の説明会を行います。どうぞお越し下さい。



(文化財のシンボルマーク)

編集

(財)いわき市教育文化事業団

(電話) 0246-22-5431

内線 254・256

荒川館遺跡

調査事務所

(電話) 0246-22-5135